災害の特徴を知る

風水害

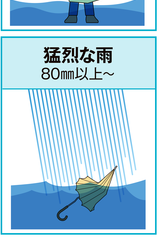
「風水害」は他の災害に比べ、毎年発生する危険性があるものの、台風の経路や雨量規模を天気予報から予測できるため、避難しやすい災害の一つといえます。天気予報をよく確認し、避難への備えをしましょう。

雨の強さと想定される被害

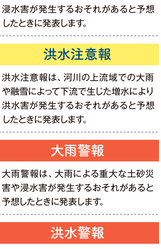
やや強い雨
10㎜以上～20㎜未満

強い雨
20㎜以上～30㎜未満

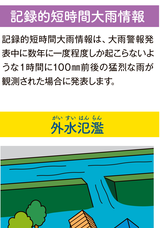
激しい雨
30㎜以上～50㎜未満



非常に激しい雨
50㎜以上～80㎜未満



猛烈な雨
80㎜以上～



大雨注意報

大雨注意報は、大雨による土砂災害や浸水害が発生するおそれがあると予想したときに発表します。

洪水注意報

洪水注意報は、河川の上流域での大雨や融雪によって下流で生じた増水により洪水害が発生するおそれがあると予想したときに発表します。

大雨警報

大雨警報は、大雨による重大な土砂災害や浸水害が発生するおそれがあると予想したときに発表します。

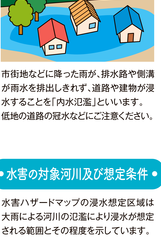
洪水警報

洪水警報は、河川の上流域での大雨や融雪によって下流で生じる増水や氾濫により重大な洪水害が発生するおそれがあると予想したときに発表します。

記録的短時間大雨情報

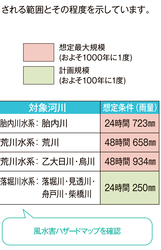
記録的短時間大雨情報は、大雨警報発表中に数年に一度程度しか起こらないような1時間に100㎜前後の猛烈な雨が観測された場合に発表します。

外水氾濫（がいすいはんらん）



台風や大雨等によって河川の水が堤防からあふれたり、堤防が決壊したりすることによって道路や建物が浸水することを「外水氾濫」といいます。
（ハザードマップは「外水氾濫」を対象にしています）

内水氾濫（ないすいはんらん）



市街地などに降った雨が、排水路や側溝が雨水を排出しきれず、道路や建物が浸水することを「内水氾濫」といいます。
低地の道路の冠水などにご注意ください。

●水害の対象河川及び想定条件●

水害ハザードマップの浸水想定区域は大雨による河川の氾濫により浸水が想定される範囲とその程度を示しています。

想定最大規模（おおよそ1000年に1度）
計画規模（おおよそ100年に1度）

対象河川	想定条件（雨量）
脇内川水系：脇内川	24時間 723㎜
荒川水系：荒川	48時間 658㎜
荒川水系：乙大日川・扇川	48時間 934㎜
落堀川水系：落堀川・見透川・舟戸川・柴橋川	24時間 250㎜

風水害ハザードマップを確認